

令和3年4月6日

新入生の皆さんへ

北海道教育大学函館校キャンパス長
五十嵐 靖 夫

国際地域学科と養護教諭特別別科、教職大学院の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。ようこそ函館校に来てくれました。

皆さんの中には、親元から離れて暮らす人も多いと思いますし、初めての一人暮らしで不安を感じている人もいるかもしれません。私たち教職員は、できる限り皆さんの自立と成長を支えたいと思っていますので、分からないことや悩みがあれば相談してください。

さて、皆さんが大学生活を始めるに当たって、私からは、3つのことについてお伝えします。1つ目は、主体性です。2つ目は、大学に来るようにしてくださいということです。3つ目は、国際性と教育マインドのことです。

大学は高校とは違います。何が大きく違うかと言うと、自分で判断しなければならないことが増えます。自由度が増えるのですが、一方で、自分の考えや希望、将来設計をしっかりと持ってほしいと思います。

自立的に行動するといっても、どうしても自分では解決できない問題に直面したときは、我々教職員に相談してください。些細なことでも結構です。むしろ、些細なことの方がありがたきことがあります。ことが大きくなってから対処しようとする大変なことになる場合があります。

皆さんには、学生指導教員という教員がつきます。その指導教員に相談することもできますし、「学生生活サポート室」に相談することもできます。できるだけ自分だけで抱え込まない方がよいと思います。少しずつ構いません。自分で考えて、自ら行動していく努力をしてください。すると、そのうち主体的な行動が身につきます。

2つ目は、授業に出てきてください。1年生の前期はかなり守ってくれますが、そのうちいい加減になることも見られます。「授業や大学には行った方がよい」という意識は常に持つておいてください。でも、どうしても大学に来られなくなった時、電話やメールで構いません。だれかに相談してください。

3つ目は、国際性と教育マインドについてです。国際性と教育マインドは函館校の柱です。語学力を継続的に向上させ、諸外国の事情を知るとともに、異文化の理解を深めてください。他の国の人を見て、外国人として接するのではなく、同じ人間として接することができるようになってほしいです。

教育マインドは、函館校開学時から培われてきた、思いやりの心、人を育てる心、仲間と助け合う心です。将来、教員を目指す皆さんはもちろん、教員希望ではない皆さんも、周りの仲間や地域の方々に関心をもって、ぜひ周りの人を支えられるようになってほしいです。

函館校の学生の良さはたくさんあると思いますが、特に優れていると周りから認められて期待されていることは、人に対する思いやりと、人とのコミュニケーション力です。そういった先輩たちが築き上げてきた教育大生のイメージから、皆さんに対する信用が生まれますので、大切に受け継いでください。

これからの皆さんの学生生活が実り多きものとなるよう、教職員一同応援いたします。どうぞ楽しい大学生活を送ってください。